



総合資料館だより

2009.10.1 No.161



「北山から未来へ」

総合資料館・府立大学・植物園 包括協定締結記念事業

府立の3機関（総合資料館・府立大学・植物園）は、北山・下鴨地域で発展してきた歴史を踏まえ、相互の人的、物的、知的資源を交流・活用し、密接に連携を図りながら、それぞれが行う事業と特色を充実・発展させるとともに、地域や社会に一層の貢献を行うことを目的に、本年3月27日に包括協定を締結しました。

この包括協定の締結の具体化を図る第一歩として、この3機関の存在と活動を広く広報し、北山地域が今後、京都に関する学術・文化の発信拠点として一層発展することを目指して、関係機関や団体と一緒に、北山地域の歴史を振り返りながら、府民の皆様とともに未来を展望する共同事業を実施しますので、府民の皆様の積極的な参加をお願いします。（詳細は2ページをご覧ください。）

（写真は北東方向から撮影した資料館、府立大学、植物園 平成21年7月23日撮影）

目次	総合資料館・植物園・府立大学包括協定締結記念事業「北山から未来へ」	1
	包括協定締結記念事業「北山から未来へ」開催の御案内	2
	文献課の窓から「身代わりとなった植物園」	5
	歴史資料課の窓から「公文書管理法の制定と公文書館制度」	6
	最近の収集資料から（平成21年6月～8月）	8
	友の会事務局から 日誌 利用案内 他	10

包括協定締結記念事業「北山から未来へ」開催の御案内

資料館がある北山地域周辺には、府立大学、植物園、陶板名画の庭、コンサートホールなど、地域の景観と調和した多数の文化施設があります。

その中で、府立の総合資料館と植物園、府立大学の3機関は、本年3月に相互の連携に関する「包括協定」を結びました。それは、これまで以上に、相互の人的、物的、知的資源を交流・活用し、密接に連携しながら、それぞれが行う事業と特色を充実・発展させ、地域や社会にいつそう貢献することを目指したものです。

3機関は、この「包括協定」の具体化をはかる第一歩として、それぞれの存在と活動をいつそう深く知っていただき、同時に、この地域が今後、京都に関する学術・文化の発信拠点として発展することを目指して、そもそもの原点である、この北山地域に京都府が関わることとなって以来の100年近くの歴史を振り返りながら、府民のみなさんとともにその未来を考えたいとの思いで、つぎのような共同事業を計画しました。

勿論この地域の歴史も京都府だけで紡がれてきたものではありません。ご近所の皆様方をはじめとする府民の皆様方の暖かい御支援があり、現在があるものと考えています。この事業もさまざまな機関や団体の方々の支援をいただいで実施することが可能となりました。今回のこの事業が、「北山」を支える多くの人々の結びつきを広げ、強めるきっかけになればと考えています。

① 企画展の開催

- ・期 間：平成21年10月31日（土）～11月29日（日）
- ・テーマ：北山の歴史をふりかえる - 資料館・大学・植物園の昔と今 -
- ・場 所：京都府立総合資料館 2階展示室
- ・内 容：周辺地図、写真、年表、館蔵行政文書等を展示。

当館が所蔵する資料だけではなく、大森文庫（植物園）や府立大学大学史資料等関係機関の所蔵する資料も含め、3機関が連携して開催します。

* 京都府立大学の前身である「京都府簡易農学校」が現在地に移転新築した校舎で授業を開始（大正7年）してから91年、新制「京都府立大学」としてスタート（昭和34年）してから50年、また、植物園が、大典記念京都植物園として開園（大正12年）してから72年、資料館が開館（昭和38年）してから46年が経ちました。それぞれの施設は、それぞれの背景と経過の中で、この地に立地し、現在に至っています。それぞれの施設は、単に現在そこにある施設としてだけではなく、そこに関わられた人々の思い出の中に鮮明に記憶された歴史としてここにあります。府民に愛され、地域に育まれたこの歴史を振り返りながら、未来の有り様について府民の皆様と一緒に考えたいと思います。

② 「北山の昔・今・未来を考える」シンポジウム等の開催

企画展の開催期間中に、上記テーマに関連するシンポジウムや講座を府立大学又は資料館で開催します。

◀ 3機関連携包括協定締結記念公開シンポジウム ▶

- 開催日時：平成21年11月3日（日・文化の日） 午後1時～5時
 - テーマ：古都のイメージ大解剖－川端康成の「古都」を手がかりに
 - 場所：京都府立大学 大学会館2階多目的ホール
 - 内容：講演とパネルディスカッション
 - 1 イントロダクション－「古都」に見る京都のイメージ
（京都府立大学文学部 野口 祐子）
 - 2 「古都」の幻影－川端康成にとっての京都
（京都府立大学文学部 赤瀬 信吾）
 - 3 「古都」の花と木－京都らしさを演出する植物たち
（京都府立植物園長 松谷 茂）
 - 4 外から見た「古都」－日本文化のガイドブック
（京都府立大学文学部 浅井 学）
 - 5 「古都」の北山－その歴史と文化
（京都府立総合資料館館長 井口 和起）
 - 6 ACTR研究メンバーによるパネルディスカッション
- ※ ACTR（アクター）：京都府立大学地域貢献型特別研究

＜ 府民講座 ＞

- 開催日時：平成21年11月5日（木） 午後2時～4時
- テーマ：北山の都市計画－琵琶湖疏水支線と北山の景観
- 講演者：小野芳朗（京都工芸繊維大学大学院教授）
- 場所：京都府立総合資料館4階講堂

＜ 地域連携講演会 ＞

- 開催日時：平成21年11月26日（木） 午後1時30分～4時
- 講演者：賀茂別雷神社（上賀茂神社） 宮司 田中 安比呂氏 他
- テーマ：「地域のつながり－地域の歴史と文化」
- 場所：京都府立総合資料館4階講堂

③ スタンプラリーの実施

- 期間：平成21年11月21日（土）～22日（日）
- 場所：京都府立総合資料館、京都府立大学、京都府立植物園、京都コンサートホール、陶板名画の庭
- 内容：

資料館や府立大学は植物園と違って、府民の皆さんにとってなじみの薄いところかもしれません。そこで、皆さんに一度御気軽にお立ち寄りいただき、どんなところか、どんなことをしているのかを知っていただくために、どなたでも参加しやすいスタンプラリーを企画しました。

- 各日午前10時開始。事前申込不要。コース自由。受付・ゴールは資料館（午後4時まで）
- 5箇所全てのスタンプを押された方とスタンプは4箇所押印に止まるがクイズに全問正解された方に記念の粗品を用意しています。（各日先着200名以内）

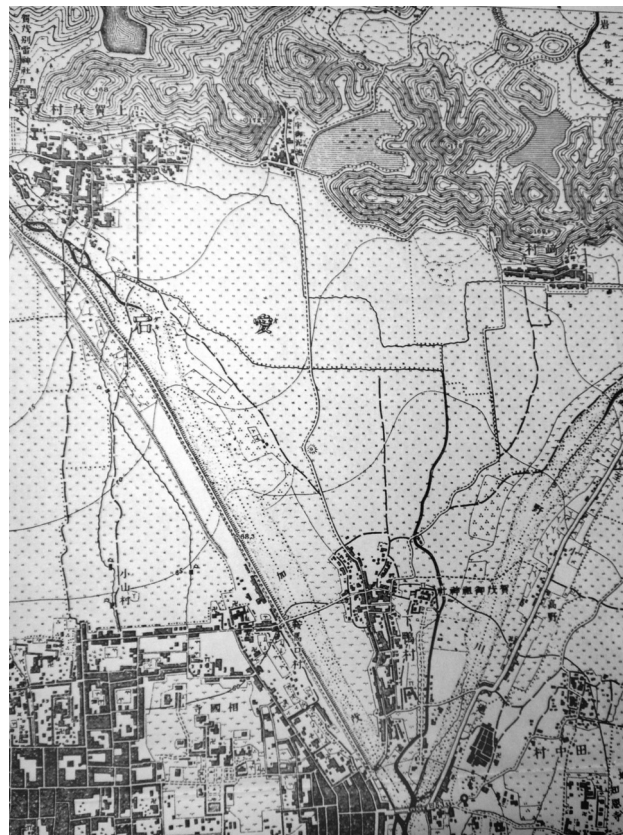
④ その他関連事業

- 歴史地理がご専門の府立大学上杉先生と一緒に北山地域を歩く「京都の歴史を歩こう！北山魅力発見！探検ウォーク」、資料館の中にある収蔵展示室の民具等を特別公開する「人々が使い、伝えてきた道具たち」、総合資料館正面玄関ホール内で開催するミニコンサート「園城三花トワイライトコンサート」、普段は入場いただけない総合資料館の「書庫」を見学する書庫ツアー等関連事業を実施する予定です。

- 10/17,10/31：桜楓講座（府立大学）
- 10/23～25：北山ハロウィン2009（陶板名画の庭）
- 10/31～11/3,11/21～23：「オータム・イン・植物園」（植物園）
- 10/31,11/1,7,19,22：主催コンサート（コンサートホール）
- 11/14：京都の歴史を歩こう「北山魅力発見！探検ウォーク」
- 11/21,22：収蔵展示室特別公開「人々が使い、伝えてきた道具たち」（資料館）
- 11/21,22：流木祭（府立大学）
- 11/21：「園城三花トワイライトコンサート」（資料館）
- 11/21：府立大学同窓会講演会・作品展（府立大学）
- 11/21：葵ポストの設置（賀茂葵コミュニティ）
- 11/21：2009ヌーヴォーを楽しむ会（陶板名画の庭）
- 11/22：総合資料館書庫ツアー（資料館）

◎ 具体的な取組内容については、それぞれの機関で広報されるほか、当館ホームページ、メールマガジン、ちらし等各種広報媒体でも広報する予定です。

◎ この事業に関するお問い合わせは、
京都府立総合資料館庶務課
（電話：075-723-4831）
までお願いします。



1889（明治22）年の下鴨村地図
（陸軍陸地測量部発行の2万分の1地形図）